

沖縄高等特支生3人 金と銀



アビリンピック

藤田・仲里さん全国へ

3年の藤田涼太さんは、アビリンピックの「オフィスアシスタント」で金賞を受賞した。事務処理の補助業務を行うもので、資料の二つ折りや宛名シール貼り、封筒

【うるま】7月に開かれた第23回県障害者技能競技大会（アビリンピックおきなわ2023）で、沖縄高等特別支援学校の生徒3人が金賞と銀賞を受賞した。さらに別の生徒4人は工業系の資格を取得し、吉報が続いた。生徒らは「自信になった」と喜んでいる。

（中部報道部・伊集童太郎）

吉報続々 工業系資格取得も4人

の仕分けなどをした。「今でも信じられない。全国大会では入賞を目指したい」と目を輝かせた。同じ種目で銀賞だった3年の徳田彩菜さんは「本番の緊張感がすごかった。入賞して正直驚いた」と満面の笑みを浮かべた。

3年の仲里愛美さんは模擬喫茶店で接客を行う「喫茶サービス」で金賞を取った。先輩に勧められて挑戦。「はつきり声を出すことと笑顔を大切にしたら。金賞を取って自信が付いた。全国でも何らかの賞を取りたい」と意気込む。

金賞の藤田さんと仲里さんは11月に愛知県で開かれる全国大会に出場する。

3年の島崎寛久郎さん、奥川侑志朗さん、長濱樹楠さん、2年の名嘉眞叶大さんの4人はガス溶接技能の資格を取った。

島崎さんは父親が土木関係の仕事をしており、「資格がないと手伝えることが限られるから」と初めて受けた。「合格できてうれしい。次は小型車両系建設機械を取りたい」と意欲を燃やす。

奥川さんは将来、土木関係の仕事に就きたいと考えており、今回挑戦した。資格取得にガッツポーズし、「夏休みにはアーク溶接の資格を目指す」と次を見据える。名嘉眞さんは先生の勧めもあって挑戦。合格の知らせを聞いた時は飛び上がって喜んだ。「次はアーク溶接と危険物取扱者内種を受けない」と目標を語った。

（左から）アビリンピックおきなわで金賞を受賞した仲里愛美さん、藤田涼太さん、銀賞の徳田彩菜さん、ガス溶接技能の資格を取った奥川侑志朗さん、名嘉眞叶大さん、島崎寛久郎さん。7月19日、うるま市・沖縄高等特別支援学校